



② 2017年10月1日発行 広報きたもと No.956

五人囃子

山車の上では、それぞれ のパートが右図のように 並んでいます。まつりの 引き立て役として、オカ メ・ヒョットコが乗ることも あります。



お囃子配列図





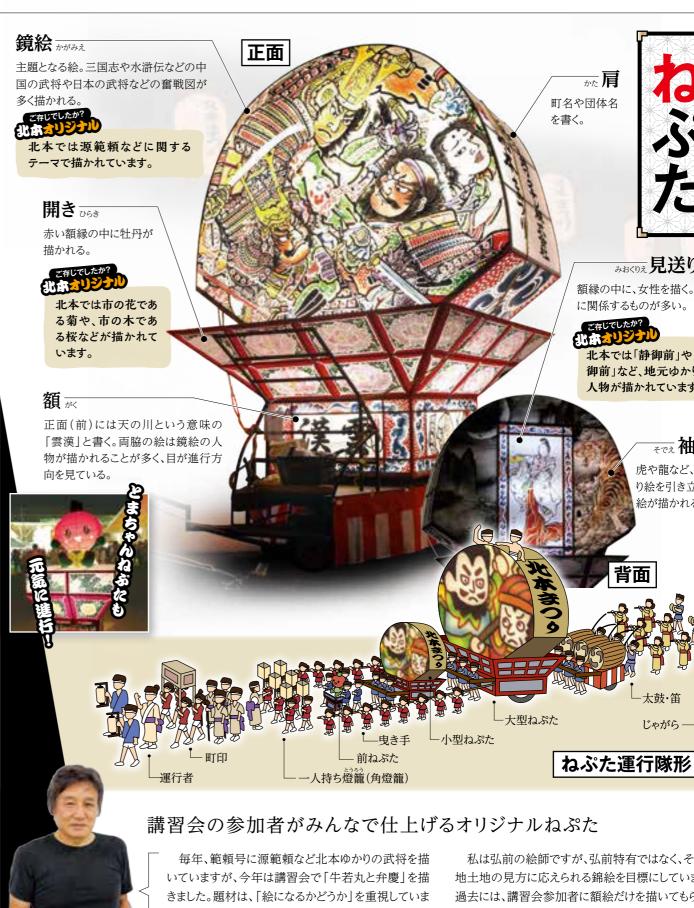


地域で育まれた笛太鼓の音色、口で伝え継ぐ郷土芸能

北本のお囃子は、古くは130年前から伝わり、現 在9団体で演奏しています。お囃子は五人囃子で、 小太鼓2人に、大太鼓1人、鉦(かね)1人、篠笛1人 で構成されます。小太鼓を上バチ、下バチ、大太鼓 をタマと呼び、鉦は他の四つの楽器を助けるため 四助(ヨスケ)、笛はトンビの鳴き声に似ているため 「トンビ」と呼ばれており、必ず笛がリードします。お 囃子は口伝ですが、手書きで記された貴重な囃子

原譜(口伝譜)があります。ただし、打ち方(吹き方) が記されているだけで、見ただけでは演奏すること ができません。代々人から人へ受け継がれて、各団 体それぞれの音色を今に伝えています。

音の聴きどころは運行の開始時で、見どころは 囃子の競演時です。お囃子は、山車に乗ったら演 奏をとめてはいけないので、みんな全力で演奏して います。ぜひ耳と目でお楽しみください!



す。「勇ましさ」「躍動感」というのがねぷた絵の特徴 でもありますが、そのなかにも私は「見てほっとする」も のを描きたいと思っています。毎年まつりの絵を楽し みにしている人、元々絵の好きな人など、色々な人が見 て「今年も見られてよかった」というものにしたいです。

私は弘前の絵師ですが、弘前特有ではなく、その土 地土地の見方に応えられる錦絵を目標にしています。 過去には、講習会参加者に額絵だけを描いてもらって いましたが、市民みんなでつくるまつりをめざしてもら いたかったため、現在は大きな鏡絵も描いてもらって います。私が鏡絵の下絵を描き、それ以降の墨入れ、 蝋描き、色塗りはすべて参加者で仕上げています。 北本オリジナルのねぷたをぜひご覧ください。

みおくりえ見送り絵

額縁の中に、女性を描く。鏡絵

北本では「静御前」や「亀

御前」など、地元ゆかりの 人物が描かれています。

そでえ 袖絵

虎や龍など、見送

り絵を引き立てる 絵が描かれる。

に関係するものが多い。

背面

太鼓•笛 じゃがらー

2017年10月1日発行 広報きたもと No.956

加藤 祺さん

講習会でねぷた絵を教える

三浦 呑龍さん



スケジュールはホームページ等でご確認ください。















ク

18:00~20:00

18:00~18:20

18:40~19:00

20:00

間 北本まつり「宵まつり」 部門実行委員会事務局(北本市観光協会 ☎591-1473)

マップ上のこのマークの場所から出発します。 出発地点により、グループが分かれています。

当日のスケジュールや運行団体等は変更になる場合があります。

(△~●はマップの「会場A~D」を表します)

ねぷた・囃子山車運行

△ねぷた囃子合同演奏

△囃子の競演

❷閉会式

北本まつり「産業まつり」部門実行委員会事務局(北本市商工会 ☎591-4461)

「囃子のたたき合い

は必見!!

写真撮影にぜひ